



大船渡だより



活動紹介 5年ぶりの再会、そして被災地見学

コロナ禍のためにベースへの訪問が出来ず、ようやく約5年ぶりにベースを訪ねてくださった元ボランティアのYさんをお迎えしました。「ただいま。」「おかえりなさい。」とお迎えして、5年ぶりの再会を喜び合いました。



ベーススタッフと昼食を取り歓談した後、ベース長と一緒に被災地見学に出かけました。Yさんは現役時代にマッサージのお仕事をなさっていて、ベースのすぐ近所に住んでいた同業の方が亡くなったことをお伝えしていたので、訪問して仏壇に手を合わせてきました。ひとり残された息子さんがとても喜んでくださいました。

大船渡町内を車で移動し、車窓から完成した防潮堤を見学し、今年の3月11日に完成した追悼施設で海に向かって黙とうをしました。そして加茂神社へ上がり、大船渡町内全体を眺めました。「きれいで安全な街が出来上がりましたね。」というご感想でした。

その後、陸前高田もゆっくりと見学して、宿泊先の大船渡温泉までお送りし、再会を約束してお別れしました。

被災地に咲く花 ～ホタルブクロ～



初夏から夏の前半にかけて咲くホタルブクロはキキョウ科の多年草で、初夏に大きな釣鐘状の花を咲かせます。古くから自生してきたので、環境に馴染みやすく、とても丈夫で育てやすい特徴があります。野道や登山道、庭や道端でもよく見かける草花です。

花は白や淡いピンク色、園芸種の青花や二重咲もあり、洋風や和風、自然風の庭などにも合いますが、とても丈夫で地下茎で盛んに増えるので、特に自然風の花壇に向いています。別名にトウロバナ、チョウチンバナ、フクロバナ、ツリガネソウ、雨降り花などがあります。ホタルブクロの花名の由来は、昔の子供たちが花の中に蛍を入れて遊んでいたことからなど、諸説あります。トウロバナやチョウチンバナなどの別名は、花の見た目が灯籠や提灯など、それぞれの姿に似ているからとされています。

子供の頃から見慣れているホタルブクロは大好きな山野草の中の1つで、かわいい花の形に癒されています。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

●カリタスみちのく～つないだ10年、つながるこれから～

インターネットで『カリタスみちのく』を検索していただくと、カリタスベースや小教区の有志グループ同士の情報共有、情報発信を行なっているページをご覧ください。

●カリタス絵手紙の輪 … 随時参加者を募集しています。

●被災地見学のご案内 … ご希望の方はお問い合わせ下さい。

〈被災地見学を予定しておられる皆さまへ〉

下記URL・QRコードから、大船渡ベースの現在の活動内容をまとめたHPをご覧ください。被災地滞在中の貴重な時間をより有効に活用する為に、ご一読いただければ幸いです。(過去の活動の様子は、ブログのアーカイブにてご確認ください。)



★<https://sites.google.com/view/oohunatobase/> カリタス大船渡ベース 検索

※一部のスマートフォンでは、文章の段落が崩れて表示される場合があります。

ベースからのお知らせ

大船渡市の中心地の様子 (2024/7/11 撮影)



震災から
13年4ヶ月…



ボランティア登録者数

男性 708人
女性 1391人

⇒ 合計 2099人

◆6月1日～6月30日
ボランティア数
男 性：0名
女 性：0名

活動紹介 今年も開催！陶芸教室～絵鉢～



6月29日(土)、今年も深大寺陶芸教室が開催されました。

今回の作品は『絵鉢』です。はじめに先生が粘土を成形しながら手順を説明すると、参加した14名は熱心にご覧になりました。そして作業開始。直径20センチ程度の器を作り、赤・青・黄など7色の染料で色付けします。色付けには、大小様々な形のスポンジを使用し、そこに染料を染み込ませてポンポンと器に押しつけて模様を描いていきました。

器作りは順調に進んでいましたが、色付け作業に入ると、迷いなくどんどん進む方は数名で、多くの方が悩んで手が止まってしまいました。作業前に、先生が「どうしても隣の作品がよく見えるものですが、惑わされずに作りましょう。」と仰っていたものの、それがなかなか難しい。周りの方を参考にしたり、アドバイスをもらったり、お互い助け合って色付けを完成させているようでした。

この作品が出来上がって手元に届くのは約1ヶ月後です。その時はまた皆さんに集まっていただき鑑賞会を開催する予定です。

地域のイベント よみがえった砂浜に新たな称号が



高田松原海水浴場が今年5月、ブルーフラッグ認証を取得しました。

ブルーフラッグとは国際NGO国際環境教育基金(FEE)が実施する国際環境認証制度で、ブルーフラッグビーチは、キレイで安全で誰もが楽しめる優しいビーチとして多くの人々が訪れます。2024年5月時点で、世界51か国5121か所がブルーフラッグを取得、日本国内では14か所が取得しており、高田松原海水浴場は今回、岩手県で初めて認証を取得しました。

高田松原海水浴場はかつて約7万本の松と砂浜が広がる、市民をはじめ多くの観光客が訪れた景勝地でした。2011年3月11日に発生した東日本大震災津波によって壊滅的な被害を受けましたが、その後世界中からご支援をいただき約4万本の松の植樹や砂浜の養浜工事が行われ、2021年7月に11年ぶりの海開きを行うことができました。震災から13年。市民が愛した白砂青松の美しい海辺に、今夏から新たに世界共通の青色の旗が掲げられます。

2024年6月の活動紹介

今月は、東北巡礼ツアーの他にカリタス釜石でのスマホ教室や深大寺陶芸教室など、イベントが盛りだくさんで、たくさんのお会いがありました。

- 4日(火) 子ども支援 ほしっこクラブ
- 5日(水) 個人依頼 パソコン操作相談
- 6日(木) 地域支援 個人宅庭園
- 7日(金) 東北巡礼ツアー
- 8日(土) 個人依頼 衣類整理・廃品整理
- 11日(火) 子ども支援 ほしっこクラブ
- 14日(木) 地域支援 気仙大工左官伝承館
- 18日(火) 子ども支援 ほしっこクラブ
- 19日(水) 個人依頼 パソコン操作相談
個人依頼 手続き同行
- 20日(木) 上山アパートサロン 『レインボーチャーム』
- 21日(金) 元気度アップ教室
- 24日(月) スマホ教室 カリタス釜石
- 25日(火) 子ども支援 ほしっこクラブ
- 29日(土) 深大寺陶芸教室『絵鉢』

〈毎週の活動〉

- 水曜日…手芸サロン・買物送迎
- 木曜日…カリタススマホ教室
またはスマホなんでも相談室
- 土曜日…買物送迎
中学生のための英語学習会

〈その他の活動〉

- カリタス工房
- カリタス絵手紙の輪
- 玄関先訪問
- ベース整備